

教 育 計 画

三草会札幌看護専門学校 第5期生

目 次

1. 教育理念	-----	P 1
2. 期待する卒業生像、教育目的・目標	-----	P 2
3. 学年別到達目標	-----	P 3～4
4. 教育課程	-----	P 5
5. 教育課程進度表	-----	P 6
6. 3年間の科目時間配分	-----	P 7～8
7. カリキュラム構成図、カリキュラムデザイン	-----	P 9
8. 教科外活動	-----	P 10
9. 教科外活動の目的	-----	P 11
10. 科目の授業構成図	-----	P 12～19
11. 科目進度計画表	-----	P 20～24
12. 学内実習・演習進度表	-----	P 25
13. 看護技術マトリックス	-----	P 26
14. 年間臨地実習計画表	-----	P 27
15. 分野別実習単位・時間・実習施設	-----	P 28
16. 学年年間計画	-----	P 29
17. 年間行事予定一覧表	-----	P 30
18. 学校運営組織図	-----	P 31～32
19. 教職員公務分掌	-----	P 33
20. 領域別看護学担当教員及び業務マトリックス	-----	P 34
21. 看護研究	-----	P 35～36
22. 入学者出身校状況	-----	P 37
23. 就職・進学状況	-----	P 38
24. 在籍状況・国家試験結果状況	-----	P 39

教育理念

三草会は「あることの尊さへのアプローチ(一緒に治る喜びを分かちあおう)」が基本理念である。理念の核は「人間の尊厳」と「人間愛」である。「人間の尊厳」とは人としての尊厳を重んじ、生命を尊び個人の価値観・権利を尊重する事である。

「人間愛」とは豊かな感情体験の中で人を愛する思いやりの心、他者の痛み苦しみに寄り添い慈しみ、あたかも自分の事のように感じられる優しい心をもつ事である。

この2つの精神を基盤とし社会医療法人と社会福祉法人の2つを併せ持つ三草会は、健康であっても、障害があっても、一人の人間として個人の生活に着眼し、疾病の予防、健康の維持増進、健康回復のために保健・医療・福祉が連携・協働しあい、それぞれの役割機能を発揮し、心を合わせて一体化となり、人々の幸福と健康的な生活の向上を目指して社会貢献している。

以上から三草会の「人間の尊厳」と「人間愛」の理念を基盤とし、三草会札幌看護専門学校は教育理念を

「人間の尊厳と人間愛の精神が学生一人ひとりに根づき、変化し続ける社会の中で看護を実践できるための基礎的能力を養い、人々の健康と幸福な生活の向上を目指し、保健・医療・福祉の中で社会に貢献できる専門職業人の育成を行う」とする。

学生個々を一人の人格を有する人間として尊重し、教育倫理に基づいた信頼関係の構築を基本姿勢とし、目標に向かって自己成長していく過程を支援していく。

期待する卒業生像

1. 看護の対象である人間を、身体的・精神的・社会的な側面をもつ統合された存在であることが理解できる。
2. 様々な健康レベルにある対象に、科学的思考に基づいた看護を実践する基礎的能力が養われている。
3. 自ら他者の思いを受容・共感できる豊かな人間性に育ち、対人関係が築ける。
4. 保健・医療・福祉チームにおける看護師の役割と責任を自覚し、チームの一員として協働できる能力が養われている。
5. 倫理観に基づいた専門職業人として規律を重んじた自覚と責任のある行動がとれる。
6. 看護の実践力を向上させるために、主体的に学習に取り組む姿勢が身についている。

教育目的

人間の尊厳と人間愛の心を養い、看護師として必要な基礎的知識・技術・態度を習得させ、社会に貢献できる専門職業人を育成する。

教育目標

1. 看護の対象である人間を、身体的・精神的・社会的な側面をもつ統合された存在であることが理解できる。
2. 様々な健康レベルにある対象に、科学的思考に基づいた看護を実践する基礎的能力を養う。
3. 自ら他者の思いを受容・共感できる豊かな人間性を育み、対人関係が築ける。
4. 保健・医療・福祉チームにおける看護師の役割と責任を自覚し、チームの一員として協働できる能力を養う。
5. 倫理観に基づいた専門職業人として規律を重んじた自覚と責任のある行動がとれる。
6. 看護の実践力を向上させるために、主体的に学習に取り組む姿勢が身につく

学年別到達目標

教育目的

人間の尊厳と人間愛の心を養い、看護師として必要な基礎的知識・技術・態度を習得させ、社会に貢献できる専門職業人を育成する。

教育目標	1 年次到達目標	2 年次到達目標	3 年次到達目標
1. 看護の対象である人間を、身体的・精神的・社会的な側面をもつ統合された存在であることが理解できる	1) 人体の構造と機能が理解できる 2) 精神の発達と機能が理解できる 3) 人間の社会的側面を理解することができる 4) ライフステージにおける発達課題を理解することができる	人間の身体的・精神的・社会的な側面の関連を考えることができる	人間は身体的・精神的・社会的な側面をもつ統合された存在であることが理解できる
2 様々な健康レベルにある対象に、科学的思考に基づいた看護を実践する基礎的能力を養う	1) 看護技術には原理・原則があり安全・安楽に実施する必要性を理解できる 2) 看護過程の思考が理解できる 3) 理論の活用必要性がわかる	1) 看護技術を原理・原則に基づき安全・安楽に実施できる 2) 基本的な看護過程を展開できる 3) 理論を活用することで論理的思考を高める	1) 看護技術を対象の個別性に合わせて応用できる 2) あらゆる対象に看護過程を展開できる 3) 論理的に表現できる
3. 自ら他者の思いを受容・共感できる豊かな人間性を育み、対人関係が築ける	1) 他者の考えを受け入れながら自己の考えも伝えることができる	1) 他者を受容し、状況に合わせた言動がとれる	1) 多様な価値観を受け入れ、対人関係を築ける
4. 保健・医療・福祉チームにおける看護師の役割と責任を自覚し、チームの一員として協働できる能力を養う	1) 保健・医療・福祉の概念が理解できる 2) 保健・医療・福祉チームの一員として行動することの自覚がもてる	1) 保健・医療・福祉チームの連携・協働を理解することができる 2) 保健・医療・福祉チームの中の一員として看護師の役割と責任を認識できる	1) 保健・医療・福祉チームの中で連携・協働の実際を通して看護師としての自覚を高め、責任ある行動がとれる

教育目標	1 年次到達目標	2 年次到達目標	3 年次到達目標
5. 倫理観に基づいた専門職業人として規律を重んじた自覚と責任のある行動がとれる	1) 看護倫理の重要性が理解できる	1) 看護職に必要な倫理に従って規律ある行動がとれる 2) 看護者のあり方について自分なりの考えをもつことができる	1) 看護倫理に従って常に規律ある行動がとれる 2) 自己の看護観を述べられる
6. 看護の実践力を向上させるために、主体的に学習に取り組む姿勢が身につく	1) 主体的に学習し自己の課題を解決するための行動がとれる	1) 自己の課題を解決するために主体的、継続的に学習することができる	1) 常に自己の課題に取り組む、継続して学習する姿勢が身についている

三草会札幌看護専門学校 教育課程

別表第1号

	科目	単位数	時間数			備考
			講義	実習	計	
基礎分野	看護物理学	1	30		30	
	論理学	1	30		30	
	国語表現法	1	15		15	
	英語Ⅰ	1	30		30	
	英語Ⅱ	1	30		30	
	情報科学と統計	1	30		30	
	心理学	1	30		30	
	コミュニケーション	1	30		30	
	文化人類学	1	30		30	
	倫理学	1	30		30	
	音楽と表現技法	1	30		30	
	社会学	1	30		30	
	教育学	1	30		30	
小計		13	375		375	
専門基礎分野	解剖生理学Ⅰ	1	15		15	
	解剖生理学Ⅱ	1	30		30	
	解剖生理学Ⅲ	1	30		30	
	解剖生理学Ⅳ	1	30		30	
	病理学総論	1	15		15	
	生化学	1	30		30	
	栄養学	1	15		15	
	人の生活と食事	1	15		15	
	薬理学	1	30		30	
	臨床検査	1	15		15	
	微生物学	1	30		30	
	病態と治療Ⅰ	1	30		30	
	病態と治療Ⅱ	1	30		30	
	病態と治療Ⅲ	1	30		30	
	治療法概論	1	30		30	
	総合医療論	1	30		30	
	社会福祉	1	30		30	
	地域医療論	1	15		15	
	関係法規	1	30		30	
	リハビリテーション	1	15		15	
	公衆衛生学	1	15		15	
小計		21	510	0	510	
専門分野Ⅰ	基礎看護学					
	看護学概論	1	30		30	
	共通援助技術	1	15		15	
	生活援助技術Ⅰ	1	30		30	
	生活援助技術Ⅱ	1	30		30	
	生活援助技術Ⅲ	1	30		30	
	フィジカルアセスメント技術	1	30		30	
	診療援助技術	1	30		30	
	看護展開技術	1	30		30	
	生活援助技術実践	1	30		30	
	臨床看護総論	1	30		30	
	看護研究	1	30		30	
	臨地実習					
	基礎看護学実習Ⅰ	1		45	45	
	基礎看護学実習Ⅱ	2		90	90	
小計		14	315	135	450	
専門分野Ⅱ	成人看護学					
	成人看護学総論Ⅰ	1	15		15	
	成人看護学総論Ⅱ	1	30		30	
	成人看護学方法論Ⅰ	1	30		30	
	成人看護学方法論Ⅱ	1	30		30	
	成人看護学方法論Ⅲ	1	30		30	
	成人看護学方法論Ⅳ	1	30		30	
	老年看護学					
	老年看護学総論Ⅰ	1	15		15	
	老年看護学総論Ⅱ	1	30		30	
	老年看護学方法論Ⅰ	1	30		30	
	老年看護学方法論Ⅱ	1	30		30	
	小児看護学					
	小児看護学総論Ⅰ	1	15		15	
	小児看護学総論Ⅱ	1	30		30	
	小児看護学方法論Ⅰ	1	30		30	
	小児看護学方法論Ⅱ	1	30		30	
	母性看護学					
	母性看護学総論Ⅰ	1	15		15	
	母性看護学総論Ⅱ	1	30		30	
	母性看護学方法論Ⅰ	1	30		30	
	母性看護学方法論Ⅱ	1	30		30	
	精神看護学					
	精神看護学総論Ⅰ	1	15		15	
	精神看護学総論Ⅱ	1	30		30	
	精神看護学方法論Ⅰ	1	30		30	
	精神看護学方法論Ⅱ	1	30		30	
	臨地実習					
	成人看護学実習Ⅰ	2		90	90	
	成人看護学実習Ⅱ	2		90	90	
	成人看護学実習Ⅲ	2		90	90	
	老年看護学実習Ⅰ	2		90	90	
	老年看護学実習Ⅱ	2		90	90	
	小児看護学実習	2		90	90	
	母性看護学実習	2		90	90	
	精神看護学実習	2		90	90	
小計		38	585	720	1305	
統合分野	在宅看護論					
	在宅看護論総論Ⅰ	1	15		15	
	在宅看護論総論Ⅱ	1	30		30	
	在宅看護論方法論Ⅰ	1	30		30	
	在宅看護論方法論Ⅱ	1	30		30	
	看護の統合と実践					
	看護管理	1	30		30	
	安全教育	1	15		15	
	災害看護	1	15		15	
	看護技術統合実践	1	30		30	
	臨地実習					
	在宅看護論実習	2		90	90	
	看護統合実習	2		90	90	
小計		12	195	180	375	
総計		98	1980	1035	3015	

三草会札幌看護専門学校

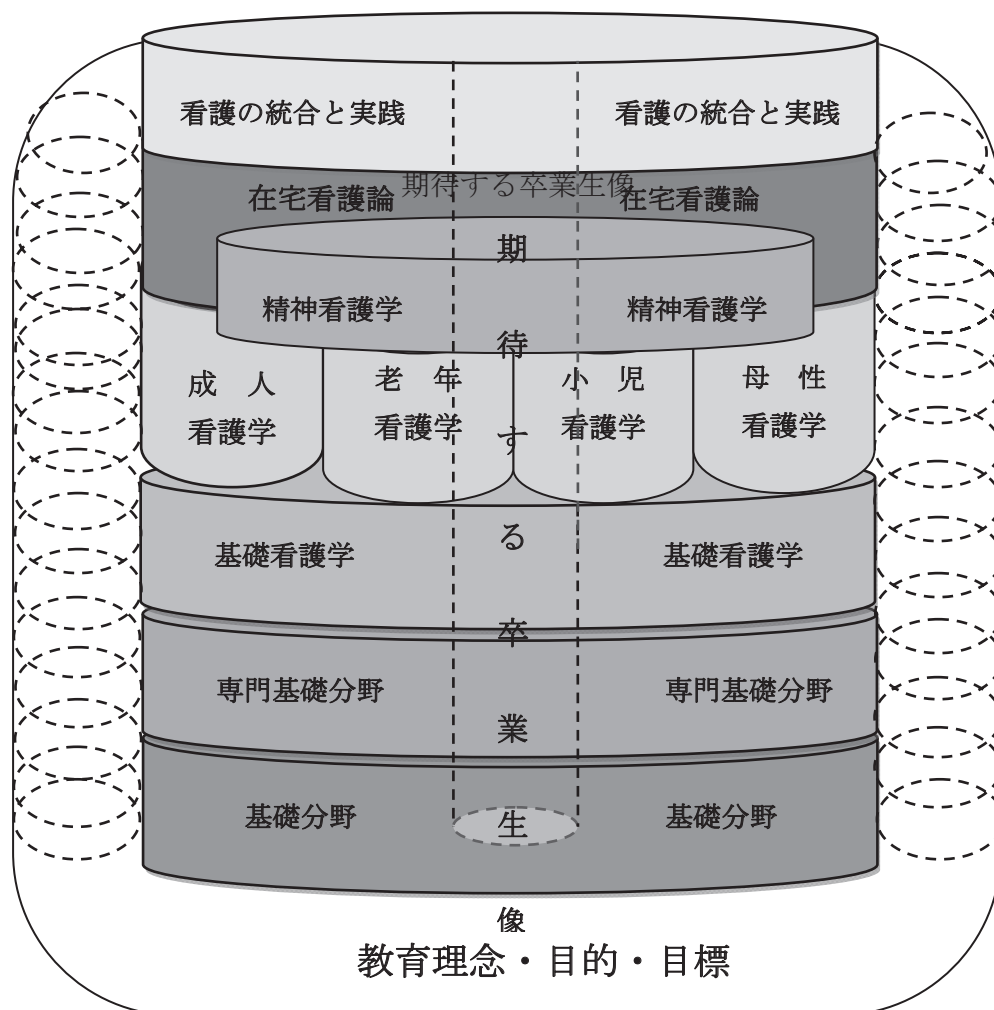
– 6 –

3年間の科目時間配分

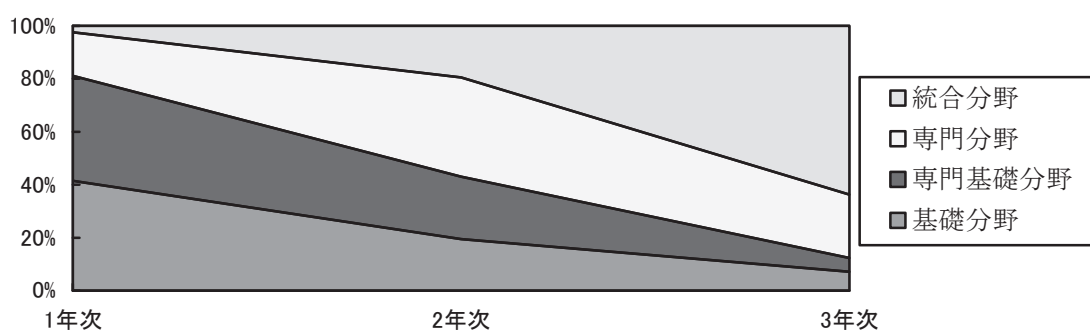
教育内容		基準 単位		科目名称	単位	年間授業時間数			
						1年次	2年次	3年次	合計
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活・社会の理解	13	1	看護物理学	1	30			30
			2	論理学	1		30		30
			3	国語表現法	1	15			15
			4	英語 I	1	30			30
			5	英語 II	1		30		30
			6	情報科学と統計	1		30		30
			7	心理学	1	30			30
			8	コミュニケーション	1	30			30
			9	文化人類学	1	30			30
			10	倫理学	1	30			30
			11	音楽と表現技法	1	30			30
			12	社会学	1	30			30
			13	教育学	1			30	30
		13		小計	13	255	90	30	375
専門基礎分野	人体の構造と機能	15	14	解剖生理学 I	1	15			15
			15	解剖生理学 II	1	30			30
			16	解剖生理学 III	1	30			30
			17	解剖生理学 IV	1	30			30
			18	病理学 総論	1	15			15
			19	生化学	1	30			30
			20	人の生活と食事	1	15			15
			21	栄養学	1	15			15
			22	薬理学	1	30			30
			23	臨床検査	1		15		15
			24	微生物学	1	30			30
			25	病態と治療 I	1	30			30
			26	病態と治療 II	1	30			30
			27	病態と治療 III	1		30		30
	28	治療法 概論	1		30		30		
	健康支援と 社会保障制度	6	29	総合医療論	1			30	30
			30	社会福祉	1		30		30
			31	地域医療論	1		15		15
			32	関係法規	1		30		30
			33	リハビリテーション	1	15			15
			34	公衆衛生学	1	15			15
	21		小計	21	330	150	30	510	
専門分野 I	基礎看護学	11	35	看護学 概論	1	30			30
			36	共通援助技術	1	15			15
			37	生活援助技術 I	1	30			30
			38	生活援助技術 II	1	30			30
			39	生活援助技術 III	1	30			30
			40	フィジカルアセスメント技術	1	30			30
			41	診療援助技術	1	30			30
			42	看護展開技術	1	30			30
			43	生活援助技術 実践	1	30			30
			44	臨床看護 総論	1	30			30
			45	看護 研究	1			30	30
	臨地実習	3	46	基礎看護学実習 I	1	45			45
			47	基礎看護学実習 II	2		90		90
		14		小計	14	330	90	30	450

教育内容		基準 単位		科目名称	単位	年間授業時間数			
						1年次	2年次	3年次	合計
専門分野Ⅱ	成人看護学	6	48	成人看護学総論Ⅰ	1	15			15
			49	成人看護学総論Ⅱ	1	30			30
			50	成人看護学方法論Ⅰ	1		30		30
			51	成人看護学方法論Ⅱ	1		30		30
			52	成人看護学方法論Ⅲ	1		30		30
			53	成人看護学方法論Ⅳ	1		30		30
	老年看護学	4	54	老年看護学総論Ⅰ	1	15			15
			55	老年看護学総論Ⅱ	1	30			30
			56	老年看護学方法論Ⅰ	1		30		30
			57	老年看護学方法論Ⅱ	1		30		30
	小児看護学	4	58	小児看護学総論Ⅰ	1	15			15
			59	小児看護学総論Ⅱ	1		30		30
			60	小児看護学方法論Ⅰ	1		30		30
			61	小児看護学方法論Ⅱ	1		30		30
	母性看護学	4	62	母性看護学総論Ⅰ	1	15			15
			63	母性看護学総論Ⅱ	1		30		30
			64	母性看護学方法論Ⅰ	1		30		30
			65	母性看護学方法論Ⅱ	1		30		30
	精神看護学	4	66	精神看護学総論Ⅰ	1	15			15
			67	精神看護学総論Ⅱ	1		30		30
			68	精神看護学方法論Ⅰ	1		30		30
			69	精神看護学方法論Ⅱ	1		30		30
	臨地実習	6	70	成人看護学実習Ⅰ	2		90		90
			71	成人看護学実習Ⅱ	2		90		90
			72	成人看護学実習Ⅲ	2			90	90
		4	73	老年看護学実習Ⅰ	2		90		90
			74	老年看護学実習Ⅱ	2			90	90
		2	75	小児看護学実習	2			90	90
		2	76	母性看護学実習	2			90	90
		2	77	精神看護学実習	2			90	90
		38		小計	38	135	720	450	1305
統合分野	在宅看護論	4	78	在宅看護論総論Ⅰ	1	15			15
			79	在宅看護論総論Ⅱ	1		30		30
			80	在宅看護論方法論Ⅰ	1		30		30
			81	在宅看護論方法論Ⅱ	1		30		30
	看護の統合と実践	4	82	看護管理	1			30	30
			83	安全教育	1			15	15
			84	災害看護	1			15	15
			85	看護技術統合実践	1			30	30
	臨地実習	4	86	在宅看護論実習	2			90	90
			87	看護統合実習	2			90	90
		12		小計	12	15	90	270	375
合計		98		合計	98	1065	1140	810	3015

カリキュラム構成図



カリキュラムデザイン



	1 年次	2 年次	3 年次
基礎分野	6 8 %	2 4 %	8 %
専門基礎分野	6 5 %	2 9 %	6 %
専門分野	2 7 %	4 6 %	2 7 %
統合分野	4 %	2 4 %	7 2 %

カリキュラムデザインは授業進度が、基礎分野、専門基礎分野の進行とともに専門分野Ⅰをはじめ看護学の比重が多くなる漸進型カリキュラムである。

教科外活動

令和2年度

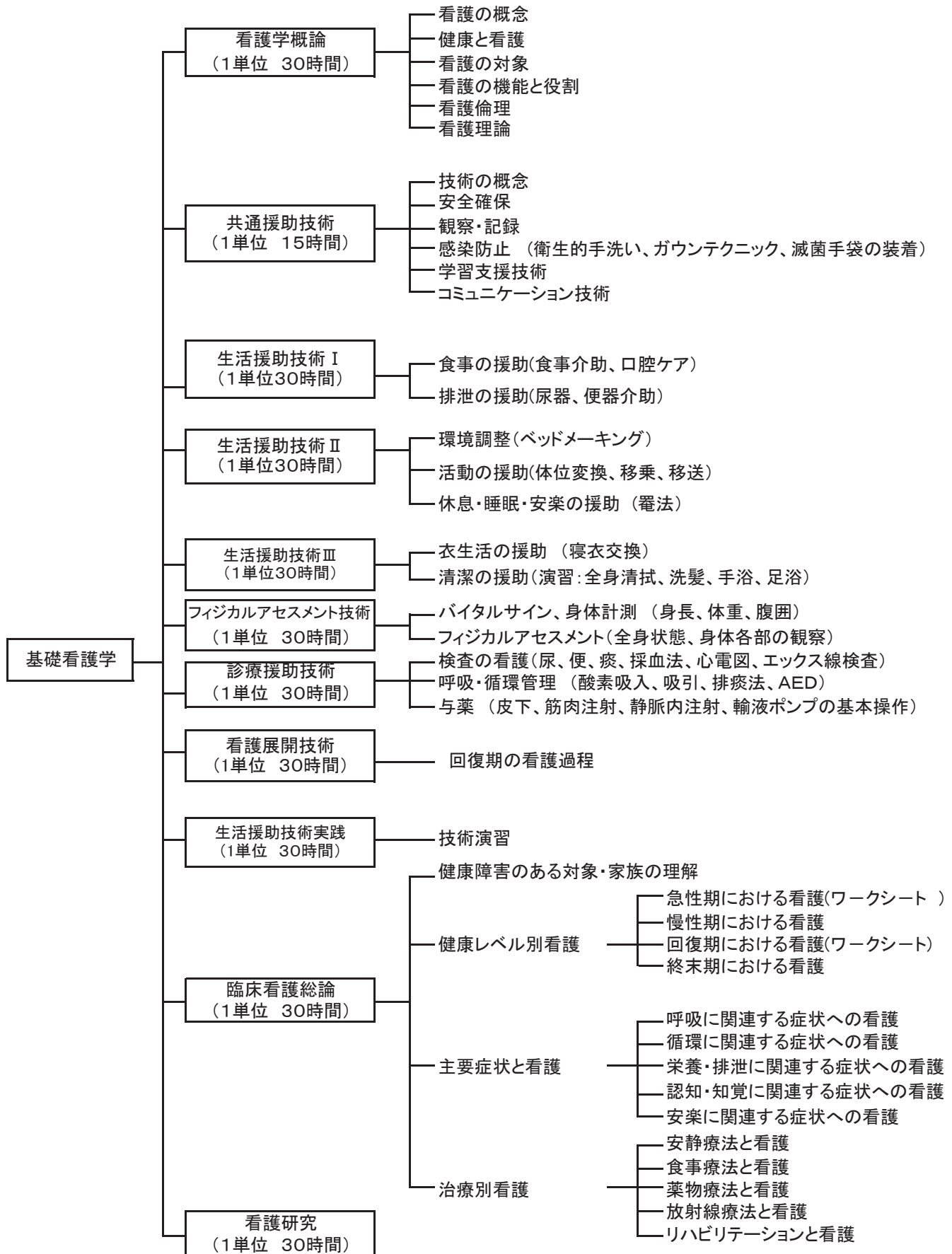
	1年生	時間	2年生	時間	3年生	時間
4月	入学式	4	実習ガイダンス	8	実習ガイダンス	24
	入学ガイダンス	8	新入生歓迎会	2	新入生歓迎会	2
	新入生歓迎会	2	実習激励会	2	健康診断	6
	実習激励会	2	健康診断	6	実習激励会	2
	個人情報の取り扱い 講話	2	札幌医科大学 標本館見学	4		
	東警察署防犯対策 講話	2			看護研究聴講	8
5月	看護の日	2	実習報告会	4		
	健康診断	6				
	避難訓練	2				
6月	遠足	8	遠足	8		
	札幌医科大学 標本館見学	4				
7月						
8月	戴帽式総練習	4	実習激励会	2		
	戴帽式	8				
	実習激励会	2				
	実習ガイダンス	8				
9月	実習報告会	4	実習ガイダンス	12		
10月	防火訓練	2				
11月			実習報告会	4	実習ガイダンス	8
12月						
1月	3年生看護研究発表 聴講	2	3年生看護研究発表聴	2		
2月	実習ガイダンス	8			看護師国家試験	8
	実習報告会	4				
3月	予餞会	2	予餞会	2	予餞会	2
	卒業特別講演	2	卒業特別講演	2	卒業特別講演	2
	卒業式	8	卒業式	8	卒業式練習	6
			実習施設ガイダンス	8	卒業報告会	4
					卒業式	8
小計	96	時間	74	時間	80	時間
総計	250 時間					

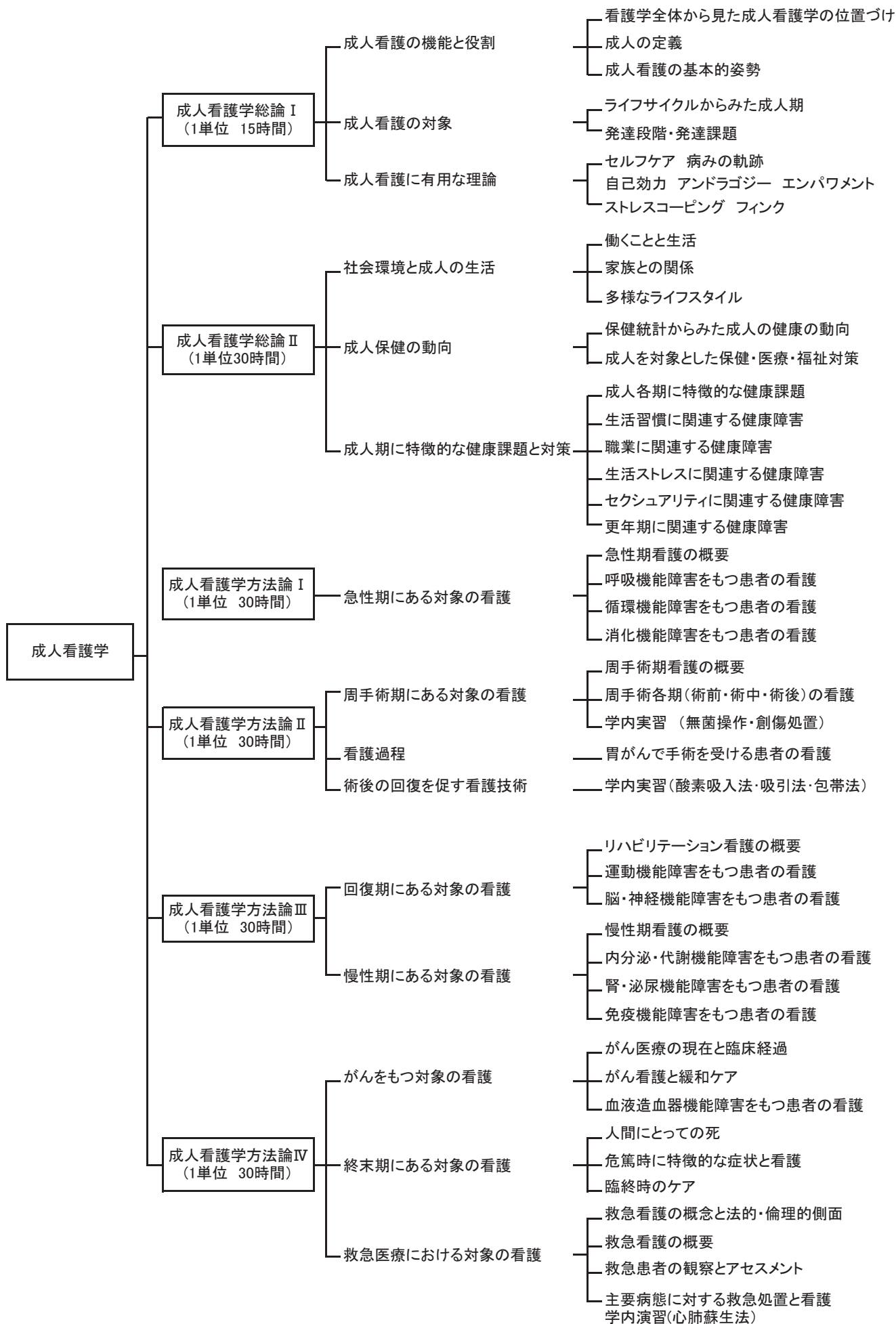
教科外活動の目的

1. 学年の枠を超え価値観の多様性に触れ、望ましい人間関係を形成するために必要な能力を育成する。
2. 組織・集団の一員であるという自覚をもち、責任ある行動、調整力を育成する。

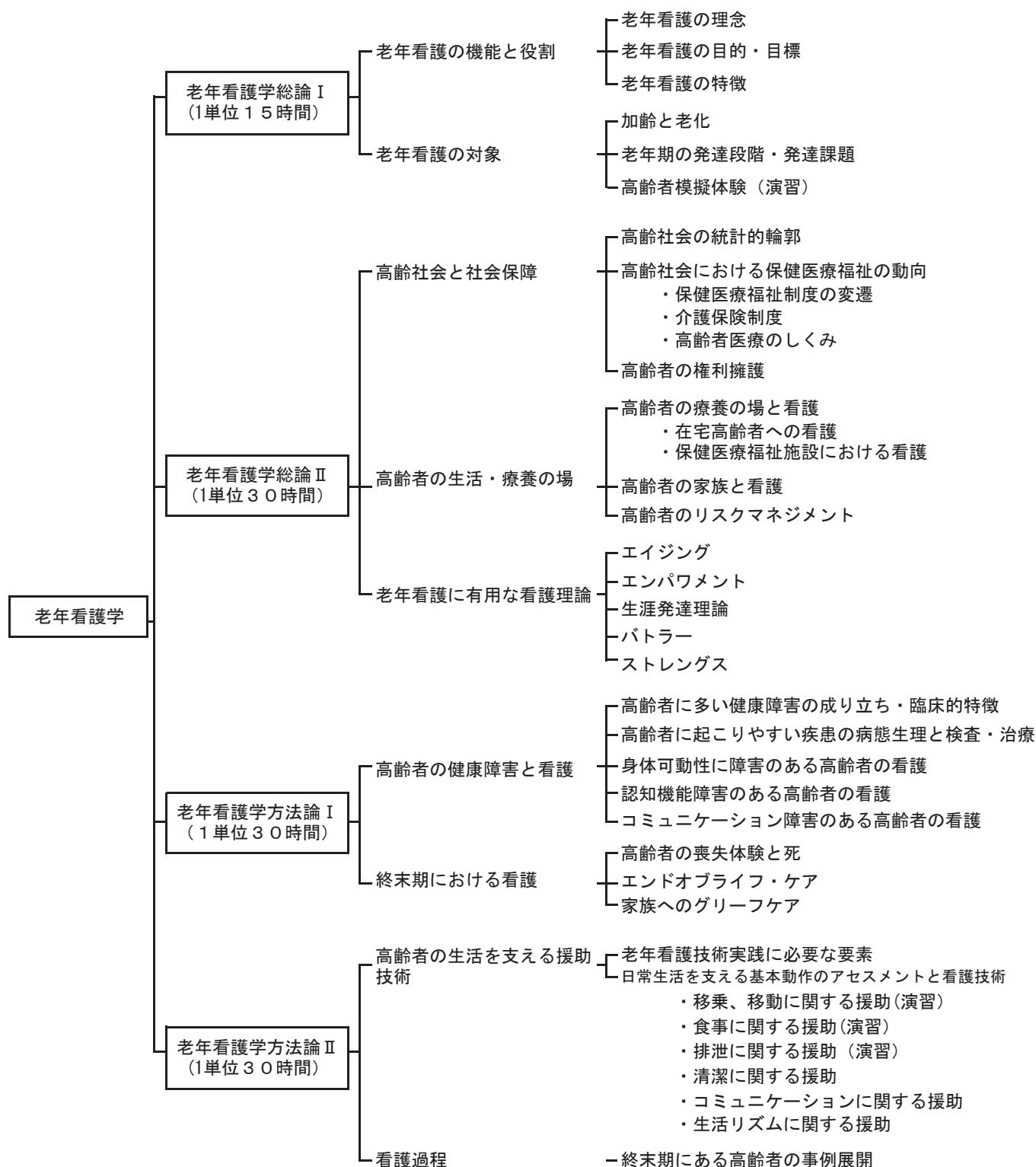
項 目	目 的
入学式	看護を学ぶための出発点とし、看護者になる自覚をもつ
入学ガイダンス	看護基礎教育の目指すものを理解し、新しい環境に適応できるようにする 学校生活が円滑に行えるよう心構えをもたせる ① 学校の教育方針と学生の教育態度の確認 ② 学習への意欲をもち立てさせ、自己目標を明らかにさせる ③ 授業に入る体制を整えさせる ④ 卒業までの学生の学習態度を身に着けさせる ⑤ 学生同士、教員同士、学生と教員の人間関係の場
新入生歓迎会	新一年生の先輩として、教員とともに歓迎交流の会とする
実習激励会	学生個々が臨地実習の目標達成を願い、学生相互の激励の場とする
防犯対策講話	東警察署より防犯対策の知識を学び自己の生活管理に役立て健全な学校生活を送る
個人情報取り扱い講話	弁護士による講話から本校の学生として法令を遵守した日常生活を送る
健康診断・血液検査・胸部レントゲン撮影	学生の健康状態を把握し、学生個々が健康管理の重要性を自覚する
防火訓練	災害時の対処方法を学び、安全に対する知識と関心を深め事故防止に努める
遠足	学生・教員間の交流を深め、集団生活のあり方を学ぶ
看護の日	地域でのボランティア活動を通して地域住民、仲間とのつながりを実感する
戴帽式練習 戴帽式	看護に対する学びの姿勢を整え、看護の精神を受け継ぐ動機づけの場とする
看護協会研究発表聴講	① 北海道看護職員の活動の実際に参加することで、自己における専門職としての意識向上をはかる ② 看護研究に役立てる
札幌医科大学標本館見学	歴史ある医療に関する標本を見学することで、解剖生理学他基礎知識を深める
実習ガイダンス	実習が円滑に行えるよう心構えをもたせる ① 実習の目的と学生の教育態度の確認 ② 実習への意欲をもち立てさせ、自己目標を明らかにさせる ③ 実習に入る体制を整えさせる ④ 卒業までの学生の学習態度を自覚させる
実習報告会	実践した看護を振り返り自己課題を明確にし、看護観を確立していく
3年生看護研究発表聴講	先輩達の研究発表を聴講する事で、看護研究の意義を理解し看護の学びを深める
予餞会	卒業前に卒業生に対して旅立ちを祝う会
卒業報告会	3年間の学業を修め、学校での学び仲間との思いで将来の目標等を、教員参加で語る会
卒業特別講演	社会的視野を広げ教養を深めるとともに、広い視野から看護を考える機会とする
卒業式練習	卒業式が滞りなく終了するよう練習を行う
卒業式	看護基礎教育の全課程修了者に証書授与し認定する 卒業生は看護基礎教育の修了者であることの自覚を高める 在校生は卒業生を祝い、思いやりの心を養う

基礎看護学(11単位 315時間)

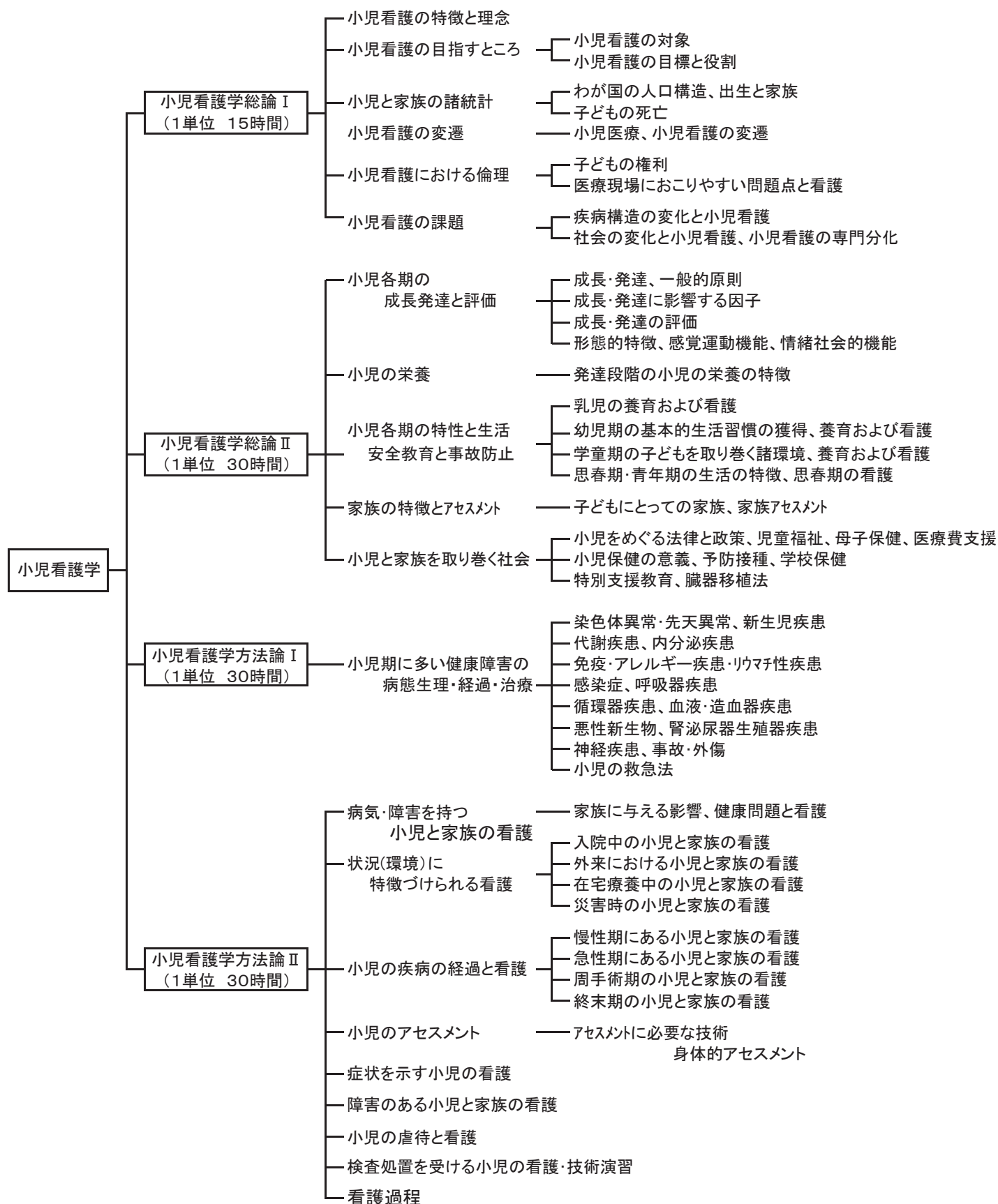




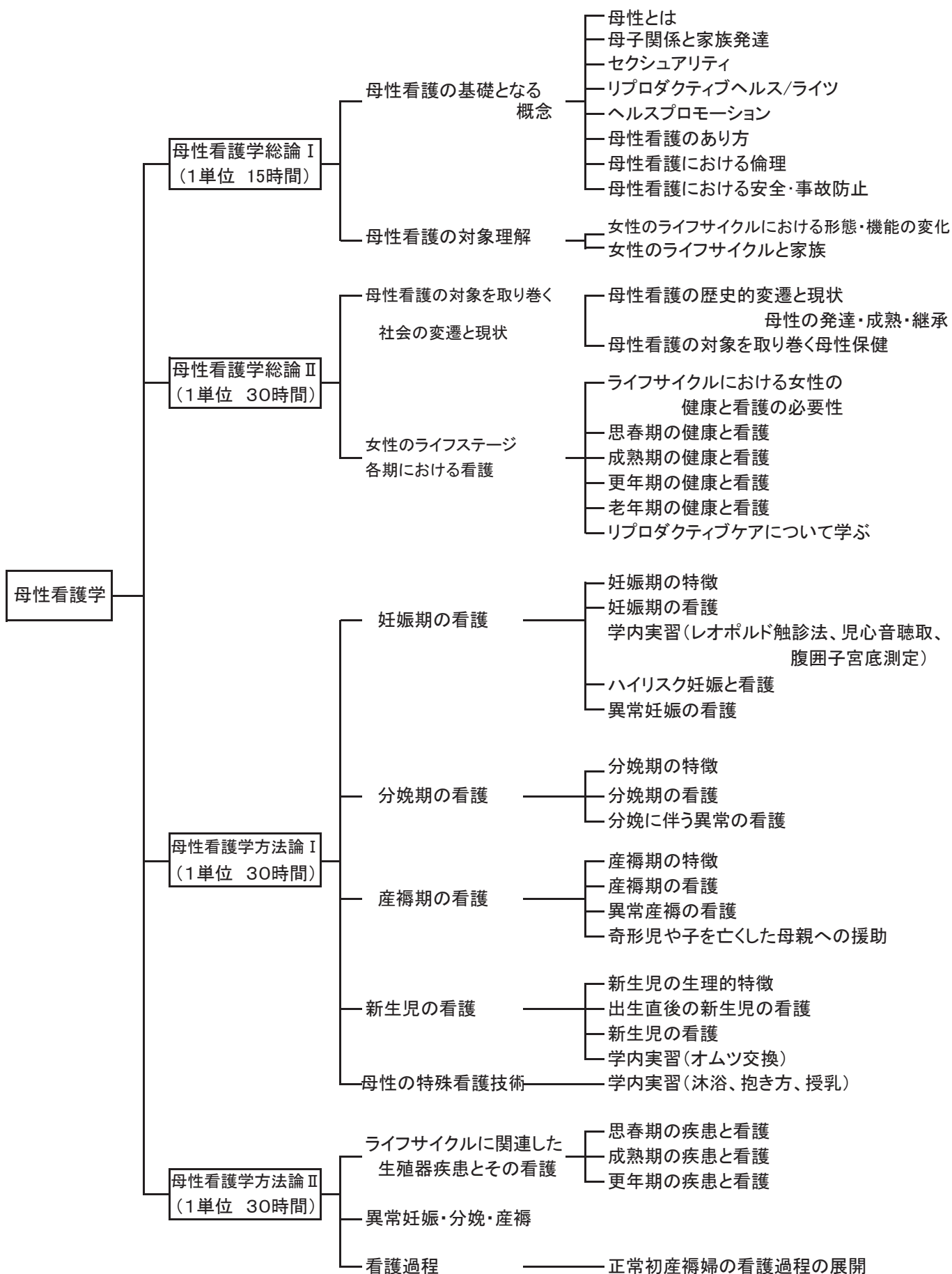
老年看護学（4単位 105時間）



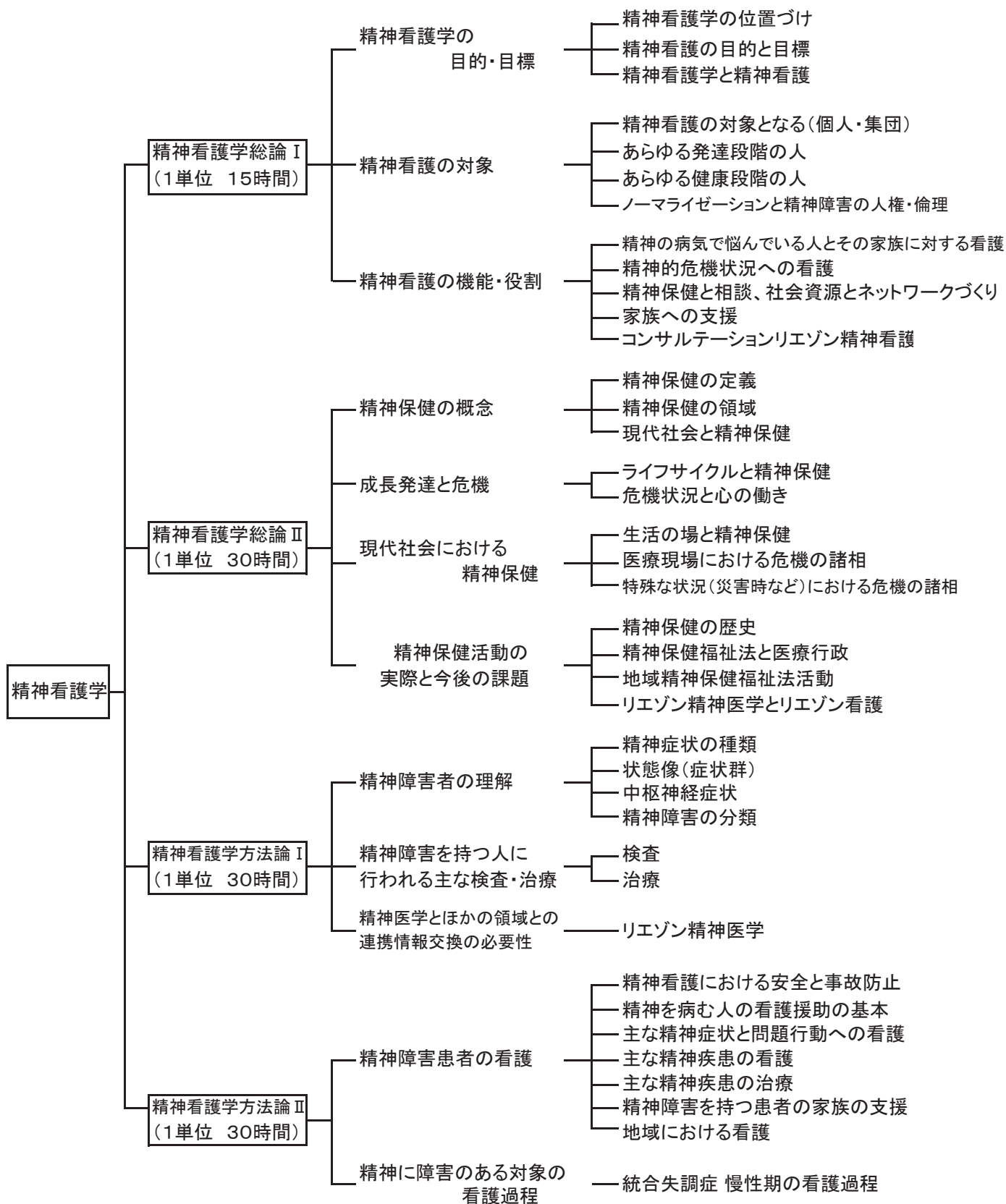
小児看護学 (4単位 105時間)



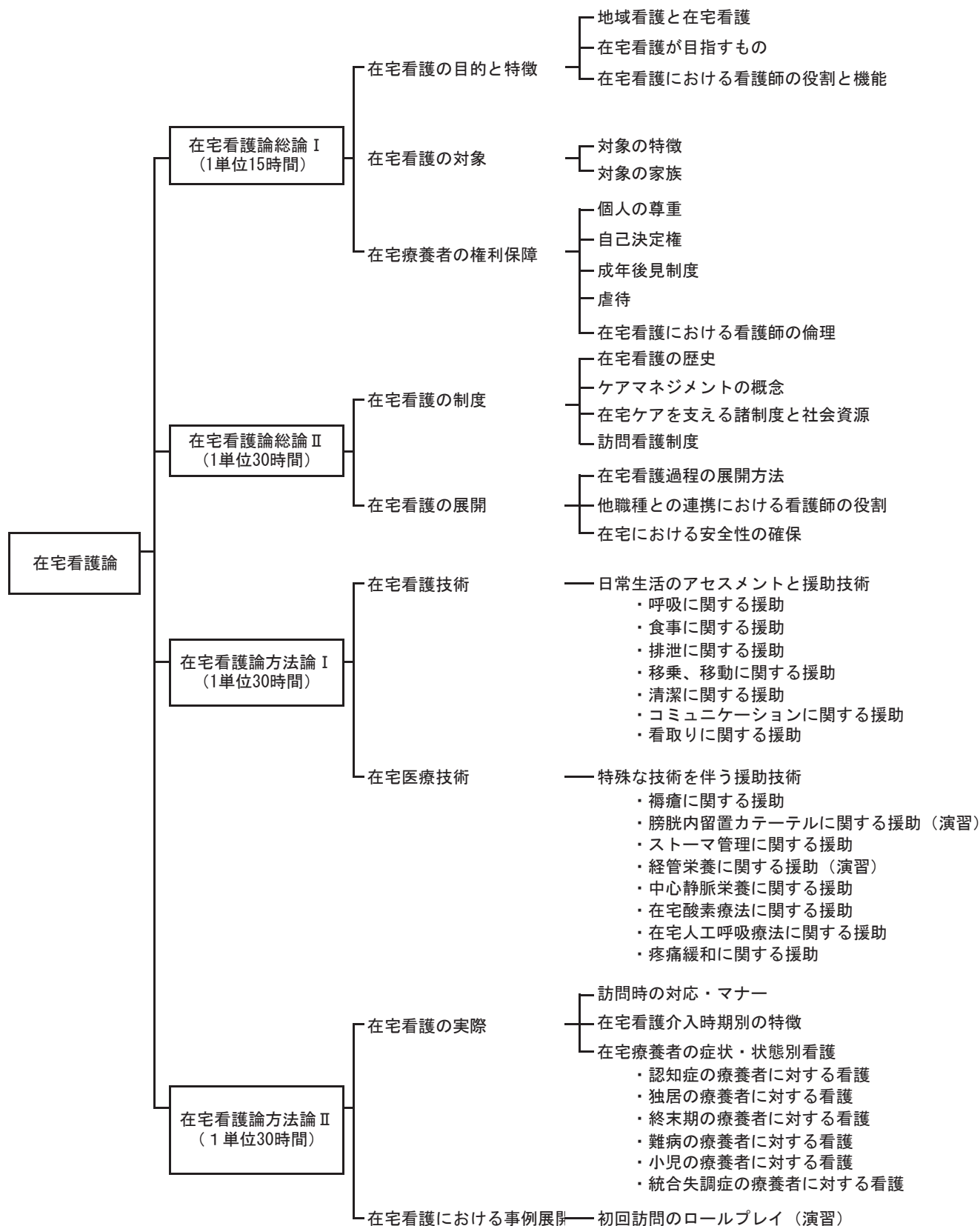
母性看護学 (4単位 105時間)

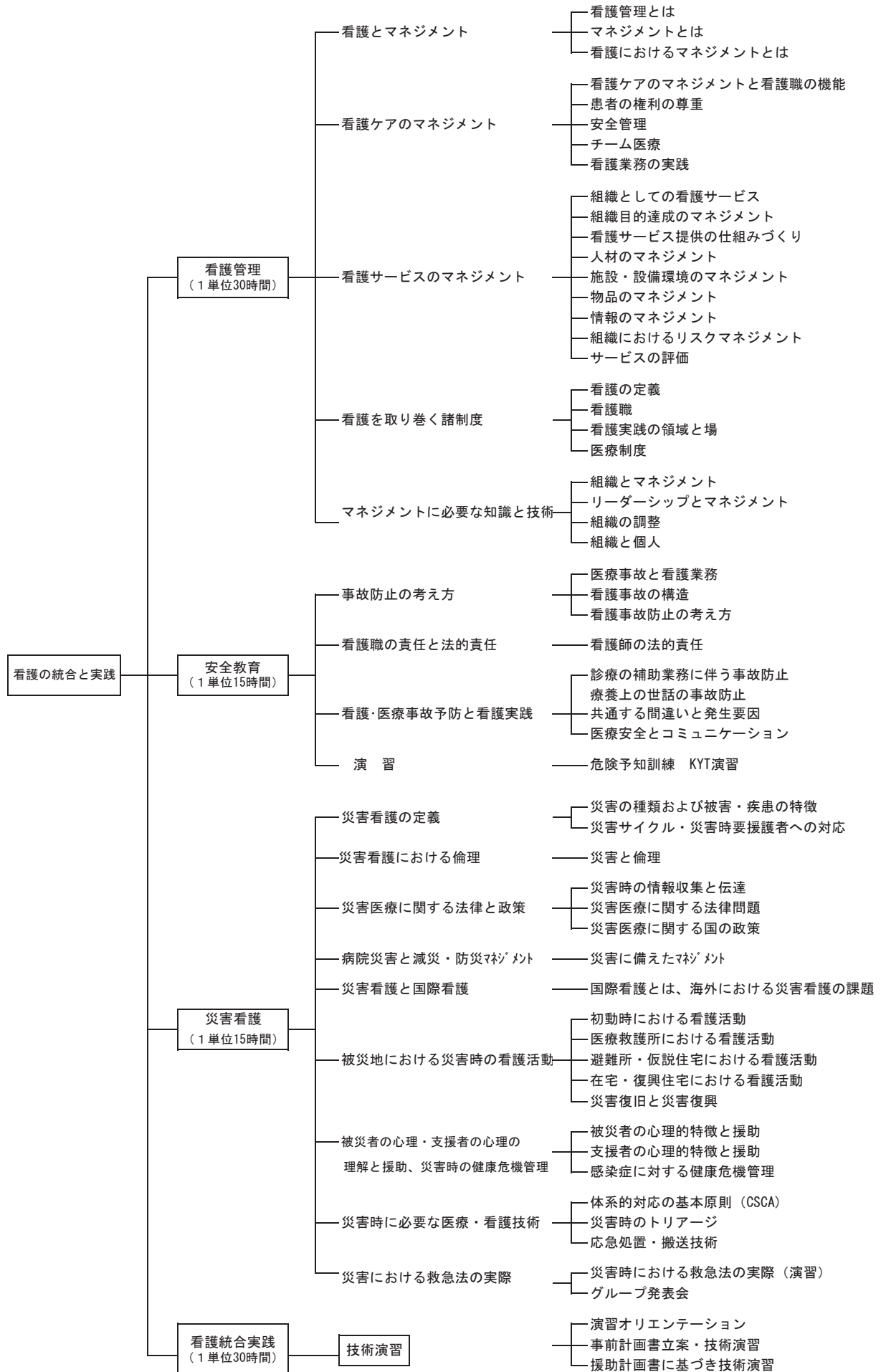


精神看護学（4単位 105時間）



在宅看護論（4単位 105時間）





科目進捗計画表(1学年)

1 学年	教科科目		担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	基礎分野		看護物理学	森山	→										
1 学年	基礎分野		国語表現法	福田							→				
			英語 I	佐藤有		→									
			心理学	久原	→										
			コミュニケーション	石塚		→									
			文化人類学	菊地							→				
			倫理学	佐藤郁恵											
			音楽と表現技法	伏見							→				
			社会学	鄭											
			解剖生理学 I	佐藤淳	→										
			解剖生理学 II	後山 賀来 加藤		→ 呼吸器系									
			解剖生理学 III	一木 大島 河田 島村	→ 血液・免疫系			→ 腎泌尿	→ 代謝分泌	アレルギ					
			解剖生理学 IV	杉本 山本 永森 島村 賀来 杉山							→ 生殖器系				
			病理学総論	森山	→						→ 脳神経系			→ 皮膚	→ 耳鼻科、眼科、歯科
1 学年	専門基礎分野		生化学	佐藤淳	→										
			栄養学	上坂		→									
			人の生活と食事	上坂							→				
			薬理学	山崎		→									
			微生物学	澤田	→										
			病態と治療 I	後山 賀来 加藤		→ 運動器			→ 呼吸器系	→ 循環器					
			病態と治療 II	一木 大島 河田 島村		→ 消化器			→ 血液・免疫系	→ 腎泌尿	→ 代謝分泌	アレルギ			
			リハビリテーション	富樫											
			公衆衛生学	都築											

科目進捗計画表(1学年)

教科科目		担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 学年	専門分野 I	看護学概論	野口	看護の概念・看護と健康・看護の対象 看護の役割と機能 看護理論 看護倫理			↑							
		共通援助技術	藤原 黒田	技術の概念→安全確保→観察・記録→感染防止・学習支援→コミュニケーション										
	基礎看護学	生活援助技術 I	櫻井 齊藤	食事→排泄										
		生活援助技術 II	藤原 坂本	活動・環境・休息・睡眠										
		生活援助技術 III	吉田 藤原 三上					衣生活 清潔の援助						
		フィジカルアセスメント 技術	藤原 井上							フィジカルアセスメント バイタルサイン				↑
		診療援助技術	井上 三上む							診療・検査・処置・薬 注射				↑
		看護展開技術	藤原							看護過程・事例展開(回復期の看護過程)				
		生活援助技術実践	藤原									生活援助技術 グループ学習・学内演習		↑
		臨床看護総論	齊藤 吉田 坂本					健康障害にある対象・家族理解 健康レベル別看護・主要症状と看護・治療 別看護						
		成人看護学総論 I	三上					成人看護の機能と役割・成人看護 の対象・成人看護に有用な理論						
		成人看護学総論 II	鎌田 三上					社会環境と成人の生活、成人保健の動向、成人期に特徴的な健康課題と 対策						
	専門分野 II	老年看護学総論 I	齊藤					老年看護の機能と役割 老年看護の対象						
		老年看護学総論 II	齊藤 仲田					高齢社会と社会保障・高齢者の生活療養の場、老年看護に有用な看護理論						
	看護学	小児看護学総論 I	坂本					小児看護の特徴と理念 小児看護の目指すところ 小児と家族の諸統計 小児の養育 小児看護における倫理・課題						
		母性看護学総論 I	吉田かつえ					母性看護の基盤となる概念 母性看護の対象理解						
		精神看護学総論 I	鎌田					精神看護学の目的・目標 精神看護の 対象 精神看護の機能・役割						
		在宅看護学総論 I	櫻井					在宅看護の目的と特徴 在宅看護の 対象 在宅療養者の権利保障						
	総合 分野							↕ I a					↕ I b	
	基礎看護学実習		藤原											

科目進捗計画表(2学年)

教科科目		担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
基礎分野	論理学	石飛												
	英語Ⅱ	佐藤有												
専門基礎分野	情報科学と統計	浅尾												
	臨床検査	西川												
専門基礎分野	病態と治療Ⅲ	杉本 山本 永森 島村 賀来 杉山	脳→生→皮→耳、 眼、歯											
	治療法概論	吉田秀 住田												
専門基礎分野	社会福祉	古井												
	地域医療論	永森 櫻井												
専門基礎分野	関係法規	水野												
	方法論Ⅰ	小山内 赤石 磯田	消化器・循環器 呼吸器 膈手術前・術後の回復を促進する技術											
成人看護学	方法論Ⅱ	井上 三上												
	方法論Ⅲ	鎌田 榎島	回復期にある対象の看護 慢性期にある対象の看護											
成人看護学	方法論Ⅳ	渡辺 井上												
	方法論Ⅰ	雷田 鈴木 齋藤 齋藤	高齢者に多い健康障害の成り立ち、高齢者に起こりやすい疾患の病態生理と検査・治療 身体可動性に障害のある高齢者の看護 コミュニケーション障害のある高齢者の看護 認知機能障害のある高齢者の看護 終末期の看護											
小児看護学	方法論Ⅱ	齊藤												
	総論Ⅱ	山谷 松浦 坂本	高齢者の生活を支える援助技術 看護過程 子どもと家族を取り巻く社会 子どもの成長発達 子どもの栄養 小児各期の特徴と生活家族アセスメント											
小児看護学	方法論Ⅰ	松浦												
	方法論Ⅱ	宮部 坂本												
母性看護学	総論Ⅱ	吉田かつえ												
	方法論Ⅰ	吉藤												
精神看護学	方法論Ⅱ	山本 吉田かつえ												
	総論Ⅱ	佐々木												
精神看護学	方法論Ⅰ	村本												
	方法論Ⅱ	大西 鎌田												

2 学 年

		教科科目	担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2 学 年	統 合 分 野	在宅看護論	櫻井 高橋												
		方法論 I	櫻井												
		方法論 II	佐々木眞 松木 櫻井												
	臨 地 実 習	基礎看護学実習 II	藤原		↕										
		成人看護学実習 I	三上						↕	↕					
		成人看護学実習 II	三上							↕	↕				
		老年看護学実習 I	齊藤						↕	↕	↕				

科目進捗計画表(3学年)

教科科目		担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
基礎分野	教育学	西出								→				
	総合医療論	島村								→				
	看護研究	藤原	看護研究の意義・プロセス						事例研究	→		→		
統合分野	看護管理	鎌田							看護サービスのマネジメント 看護を取り巻く諸制度 マネジメントに必要と技術					
	安全教育	鎌田	KYT演習						→					
	災害看護	野口 黒滝							→	→				
	看護技術統合実践	野口							技術演習	→				
	成人看護学実習Ⅲ	三上		↓					→					
臨地実習	老年看護学実習Ⅱ	齊藤	↓						→					
	小児看護学実習	坂本	↓				→							
	母性看護学実習	吉田かつえ	↓						→					
	精神看護学実習	藤原	↓					→						
	在宅看護論実習	櫻井	↓					→						
	看護統合実習	野口								↔	↔			

3 学 年

表 度進習演・實内学

	4月	5月	6月	7月	8月	9月 基礎Ⅰa実習	10月	11月	12月	1月	2月 基礎Ⅰb実習	3月
1学年		共通援助技術 → ・ガウンテクニック ・衛生的な手洗い ・滅菌手袋の装着	生活援助技術Ⅱ → ・体位変換、移乗・移送 ・バッドメーカーギン ・嚥法	生活援助技術Ⅰ → ・食事介助・口腔ケア ・便・尿器の挿入			生活援助技術 → ・更衣交換 ・足浴	生活援助技術Ⅲ → ・洗髪	生活援助技術Ⅳ → ・全身清拭（陰部清拭）	診療援助技術 → ・点滴静脈内注射・輸液ポンプの取扱い ・採血法 ・皮下注射・筋肉内注射 ・救急蘇生法（AEDの取り扱い）		
										フィジカルアセスメント技術 → ・バイタルサイン ・身体各部の観察 ・身体計測		
								老年 → ・模擬体験	看護展開技術（回復期） →			
2学年		基礎Ⅱ実習			成人 → ・成人 看護過程 ・吸引（口腔内・気管内）・体位レナージ ・無菌操作 創傷管理・酸素吸入療法 ・包帯法・救命救急処置	老年Ⅰ・成人Ⅰ・成人Ⅱ実習						
				老年 → ・老年 看護過程 ・車椅子移乗・移動 ・食事介助・口腔ケア ・陰部洗浄・オムツ交換				母性 → ・母性 看護過程 ・沐浴・更衣交換 ・胎心置・母体計測 ・妊婦体験・育児技術 ・児心音聴取		小児 → ・小児 看護過程 ・バイタルサイン測定 ・身体計測 ・経管栄養 ・膀胱留置カテーテル ・精神 看護過程 ・フロアレコード ・環境整備		
									看護統合実習			
3学年	看護の統合と実践 → ・KYT演習 → 看護研究					看護の統合と実践 → ・災害演習 ロールプレイ ・看護技術統合実践					看護研究 →	

専門分野Ⅰ・Ⅱ 統合分野 看護技術マトリックス

技術項目	基礎看護学	成人看護学	老年看護学	小児看護学	母性看護学	精神看護学	在宅看護学	看護の統合と実践	備考
1 看護過程	回復期 ヘンダーソン看護理論	急性期・慢性期 フィンク危機理論 セルフケア理論	終末期 キューブラーロス	急性期から回復期 エリクソン ピアジェ、ヴォルビエ	正常妊娠 セルフケア理論	慢性期 人間関係理論	慢性期 セルフケア理論		
2 環境調整技術	ベッドメイキング リネン交換 病室環境調整 病床整備・ベッド 身の回りの整理・整頓	術後ベッドメイキング	臥床患者リネン交換 病床整備	小児ベッドメイキング 病床整備・ベッド	新生児ベッドメイキング 保育器整備	生活空間の工夫	家庭での病床 環境の整備	事例を用いた技術試験	
3 食事の援助技術	食事介助 (嚥下・臥床患者) 配・下膳 食事摂取状況のアセスメント	電解質データ 分出精 中心静脈栄養 食事内容指導 食生活改善計画	食事介助 (嚥下・咀嚼障害患者) 麻痺のある人の食事介助	調乳 離乳食介助	哺乳 乳房マッサージ 搾乳 妊娠婦の栄養	摂食障害の ある人の食事介助	経管栄養観察 経鼻胃カテーテル流動食注入 ※モデル人形 経鼻胃チューブの挿入 胃ろう栄養		
4 排泄援助技術	自然排便・排尿を援助 便器・尿器援助 摘便の留意点	ストーマ造設留意点 胃・胸腔低圧・持続吸引 創部ドレーン	ホーフルール援助 おむつ交換 失禁患者への 失禁患者の皮膚保護 高齢者排泄の介助	乳幼児排泄介助 導尿 洗腸 トイレトレーニング	産褥体操 悪露交換 新生児おむつ交換		膀胱留置カテーテル観察 膀胱留置カテーテルの固定 ※モデル人形 導尿 膀胱留置カテーテル挿入 クリセリン洗腸 家庭での排泄援助	膀胱留置カテーテル観察 DIV挿入患者の便・尿器 使用でのベッド上排泄援助	
5 活動休息援助技術	車椅子移動・移送 歩行・移動介助 体位交換 ベッド⇄車椅子の移動 ベッド⇄ストレッチャー移動 ストレッチャー移送	キッズ装着 雇用症候群予防 歩行器、松葉杖歩行 良肢位保持 体位ドレーン	雇用症候群のリスクマネジメント 入眠・睡眠を意図した 日中活動援助 睡眠状況アセスメント 入眠援助計画 関節可動域訓練 補装具・自助具の活用	乳幼児移送 遊び	新生児抱き方 妊産婦安楽な体位 産褥体操 妊婦体操		家庭での物品工夫による 雇用症候群予防	車椅子移動	
6 清潔 ・衣生活援助技術	足浴実施 手浴実施 洗髪観察(洗面台) 臥床患者の清拭 臥床患者の洗髪 口腔ケア観察 身だしなみ援助 寝衣交換 (輸血ラインのない患者) 陰部清潔援助		意識障害の患者の口腔ケア 口腔ケア計画 陰部洗浄 ドライスポン	乳幼児清拭 歯磨きトレーニング 乳幼児の衣類選択 小児ベッドメイキング	沐浴 臍処置 乳房の手当て 外陰部の消毒 産褥履帯 新生児ベッドメイキング	整容 入浴介助	入浴介助 家庭での清潔援助 洗髪 寝衣交換 衣類の工夫 歯牙と口腔の清潔	輸液ライン患者の背部清拭 cvc挿入患者の足浴 機能障害患者の洗髪 DIV挿入患者のベッド上 排泄後の患者の手浴援助	
7 呼吸 ・循環を整える技術	電法 マッサージ	気管内加温 ※モデル人形・口腔内 ・鼻腔内吸引 気管内吸引 体位ドレーン 酸素ボンベ 酸素療法 人工呼吸器	雇用症候群予防のための 呼吸機能を高める援助	乳幼児の呼吸測定			在宅酸素療法 在宅人工呼吸療法 気管カニューレ	片麻痺患者の電法 湯たんぽ貼付	
8 創傷管理技術		創傷予防・アセスメント 創傷観察 創傷処置(基本的) 創傷処置のための無菌操作 創傷処置、消毒薬の特徴 創傷管理					褥瘡危険アセスメント 褥瘡予防ケア計画 褥瘡予防ケア実施		
9 与薬の技術	経口薬観察・服用方法 経皮・外用薬の観察 ・与薬方法 直腸内与薬の観察 点滴静脈内注射観察 ※モデル人形 直腸内与薬実施 皮下・筋肉・点滴静脈注射 皮下・筋肉注射観察 静脈注射の実施方法 注射法 吸入ネブライザー 輸液ポンプ基本的操作	中心静脈内栄養観察 抗生物質投与観察 インスリン投与方法 インスリン観察 麻薬観察 輸血観察 抗がん剤投与観察		誤薬 小児経口と薬 小児輸液管理	新生児点眼 新生児経口と薬	内服薬自己管理	家庭内薬物管理	輸液ポンプ	
10 救急救命処置技術		心肺蘇生法	誤嚥時の対処	小児救急救命法				患者の意識状態の観察 ※モデル人形 気管確保・人工呼吸実施 心マッサージ実施 AED実施 止血法の原理 意識レベルの把握方法 ドレーン	
11 症状、 ・生体機能管理技術	バイタルサイン測定 フィジカルアセスメントの基本 身体検査技術 (触診・打診・聴診) 身体測定 血液検体の取扱い 静脈血採血 心電図	血糖検査 フィジカルアセスメント (各機能障害)	フィジカルアセスメント (加齢に応じた機能障害別)	乳幼児のバイタルサイン測定 (体温・血圧・呼吸)	新生児の身体計測 (アブガースコア) 身長・体重・頭圍 ・反射児心音・呼吸・血圧 (妊産婦の身体測定) (腹圍、子宮高、骨盤計測) レオキッド触診 子宮復古観察 胎児付属物計測		療養者に応じた バイタルサイン測定 ADL評価	バイタルサイン測定	
12 感染予防技術	カウンティング 手袋・ゴーグル・ガウン装着 器具の感染防止の取扱い 感染性廃棄物の取扱い 針刺し事故対策 消毒・滅菌法 衛生的な手洗い	無菌操作 包帯法					感染予防	スタンダードプリコーション 針刺し事故対策 消毒・滅菌法 医療廃棄物取扱 (事例に応じた)	
13 安全管理の技術	療養環境を安全に整える 誤薬防止の与薬行動	放射線暴露防止・行動	転倒・転落・外傷予防 ベッド欄の取扱い	環境整備 抑制		保健室の活用 誤薬 危険物の管理	在宅でのリスクマネジメント 事故防止	インシデント・アクシデント報告 災害指示による行動	
14 安楽確保の技術	安楽体位保持 安楽ケア 精神的安楽工夫計画				安楽な分娩の技術 呼吸法 妊婦体操				
15 コミュニケーション	コミュニケーション技術 ロールプレイング	機能障害に応じた コミュニケーション技術	高齢者 コミュニケーション技術 認知症・老年者との コミュニケーション技術	家族を含めた コミュニケーション技術	家族を含めた コミュニケーション技術	精神障害に応じた コミュニケーション技術 プロセスノート	地域ネットワーク コミュニケーション技術 (訪問技術)	機能障害に応じた コミュニケーション技術	
16 診療・検査時の援助		各種機能障害の 特徴的な検査 (穿刺・X線・CT検査 内視鏡検査・心電図検査 超音波検査・基礎代謝検査 呼吸検査)			アブガースコア レオキッド触診 分娩時呼吸法 超音波エコー	心理テスト 脳波 電気ショック			
17 治療・処置の援助		穿刺 (胸・腹腔・骨髄) 洗浄 (眼・耳・鼻・胃・膀胱) 吸引 (口腔・鼻腔・気管) カテーテルドレーン管理		小児用酸素吸入 ネブライザー 酸素テスト 小児尿採取 小児診察介助 小児検査・処置介助 (採血・腰椎穿刺・骨髄穿刺)					

年間臨地実習計画表

月	前期				後期																									
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3																		
週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3															
1 学年	夏季休暇																													
																基礎看護学実習Ⅱ														
基礎看護学実習Ⅰb																														
															冬季休暇															

分野別実習単位・時間・実習施設一覧

実習科目		単位	時間数	実習時期	実習施設
専門分野Ⅰ	基礎看護学実習	基礎看護学実習Ⅰa	1	15	1年次後期 社会医療法人社団三草会クラーク病院
		基礎看護学実習Ⅰb	30		
		基礎看護学実習Ⅱ	2	90	2年次前期 社会医療法人社団三草会クラーク病院
専門分野Ⅱ	成人看護学実習	成人看護学実習Ⅰ	2	90	2年次前期 特定医療法人 柏葉脳神経外科病院 社会医療法人 恵佑会第2病院 社会医療法人 鳩仁会札幌中央病院 医療法人社団 明生会 イムス札幌消化器中央総合病院 社会医療法人社団 カレスサッポロ
		成人看護学実習Ⅱ	2	90	2年次後期 北光記念病院 社会医療法人社団 三草会クラーク病院
		成人看護学実習Ⅲ	2	90	3年次前期 社会医療法人 恵佑会札幌病院
	老年看護学実習	老年看護学実習Ⅰ	2	90	2年次前期 医療法人 愛全会 愛全病院 社会医療法人 北海道恵愛会 札幌南一条病院 医療法人社団 土田病院 社会医療法人社団 三草会 介護老人保健施設 もえれパークサイド
		老年看護学実習Ⅱ	2	90	3年次前期 医療法人 愛全会 愛全病院 社会医療法人 北海道恵愛会 札幌南一条病院
	小児看護学実習	小児看護学実習	2	90	3年次前期 社会医療法人 母恋 天使病院 市立千歳市民病院 医療法人 稲生会 生涯医療クリニック さっぽろ 札幌愛隣館保育園
	母性看護学実習	母性看護学実習	2	90	3年次前期 医療法人社団 慶愛 慶愛病院
	精神看護学実習	精神看護学実習	2	90	3年次前期 社会医療法人社団 三草会千歳桂病院
	統合分野	在宅看護論実習	2	90	3年次前期 社会福祉法人 三草会 リハケアセンター 篠路 札幌市東区第2地域包括支援センター 社会医療法人社団 三草会 訪問看護ステーションアシスト 医療法人社団 棕櫚 サホナファミリークリニック 医療法人 札幌手術センター ささえる医療クリニック きたひろ
		看護統合実習	2	90	3年次後期 社会医療法人社団 三草会クラーク病院

学年年間計画

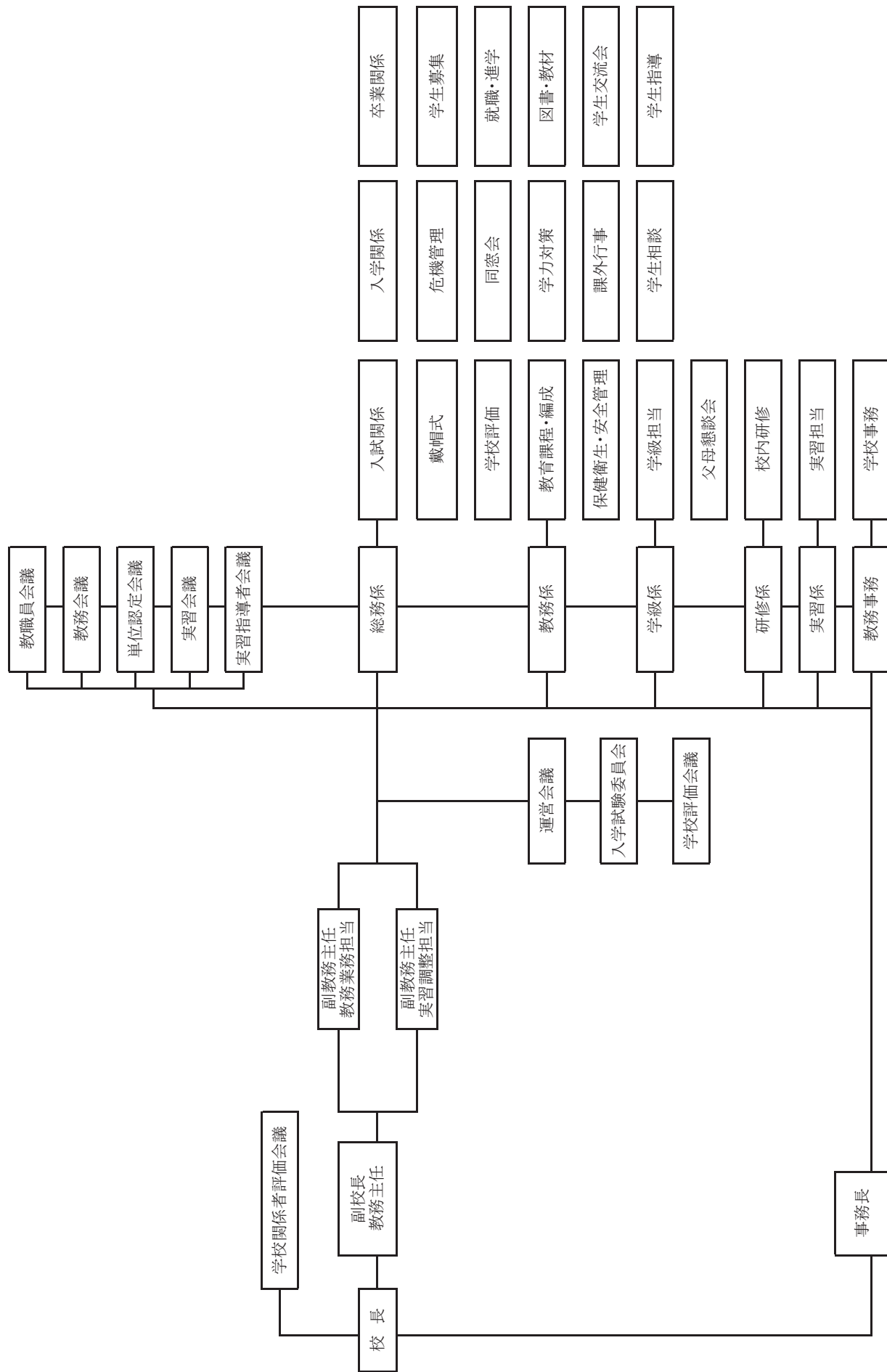
1 学 年		2 学 年		3 学 年	
月	内 容	月	内 容	月	内 容
4	入学式 入学ガイダンス 新入生歓迎会 HR運営ガイダンス (学校生活、クラス役員選出) 各修学・奨学資金の説明 2・3年生実習激励会 東警察署防犯対策講話 個人情報保護法について講話 学生の心構え	4	各修学資金の継続手続き HR運営ガイダンス (年内計画、クラス役員選出) 新入生歓迎会 基礎看護学実習Ⅱガイダンス 実習激励会 学校検診 前期学生の心構え 学生個人指導	4	各修学資金の継続手続き HR運営ガイダンス (年内計画、クラス役員選出) 新入生歓迎会 学校検診 領域別実習ガイダンス 実習激励会 看護研究導入 学生個人指導 看護協会学会発表聴講 学内技術実習・演習 実習指導
5	学校検診 学生個人面談 看護の日 学内技術実習・演習 標本館見学 遠足企画 学力対策 学生個人指導 避難訓練	5	成人看護過程演習 看護の日 基礎看護学実習Ⅱ実習指導 学力対策 学生個人指導	5	看護の日 領域別実習指導 国家試験業者模擬試験 学生個人指導 看護研究個別指導 就職指導
6	学生個人面談 学内技術実習・演習 遠足 学力対策	6	基礎看護学実習Ⅱ報告会 遠足 学生個人指導 学力対策 老年看護過程演習 基礎Ⅱ単位認定会議 学内技術実習・演習	6	領域別実習指導 看護研究個別指導 学生個人指導 国家試験業者模擬試験 就職指導
7	学生個人指導 学内技術実習・演習 戴帽式準備 1年生実習激励会 学力対策	7	学内技術実習・演習 学生個人指導 学力対策 1年生実習激励会	7	領域別実習指導 学生個人指導 看護研究個別指導 就職指導
8	後期学校生活心構え指導 戴帽式総練習 戴帽式 基礎看護学実習Ⅰaガイダンス 学力対策	8	学内技術実習・演習 後期学校生活心構え指導 学生個人指導 学力対策	8	領域別実習指導 学生個人指導 就職指導 看護研究個別指導 国家試験業者模擬試験
9	学生個人指導 実習激励会 基礎実習Ⅰa実習指導 基礎実習Ⅰa実習報告会	9	成人・老年実習ガイダンス 実習激励会 成人ⅠⅡ・老年Ⅰ実習指導 学生個人指導 学生個人指導	9	領域別実習指導 国家試験ガイダンス 学生個人指導 看護研究個別指導 就職指導
10	消火訓練 学生個人指導 前期成績会議 父母懇談会 学内技術実習・演習 学力対策	10	成人ⅠⅡ・老年Ⅰ実習指導 前期成績会議 学生個人指導	10	学内技術実習・演習 看護研究個別指導 就職指導 国家試験業者模擬試験
11	学内技術実習・演習 学生個人指導 学力対策	11	成人ⅠⅡ・老年Ⅰ実習指導 学生個人指導 成人ⅠⅡ・老年Ⅰ実習報告会 学力対策	11	就職指導 看護研究個別指導 看護統合実習ガイダンス 学内技術実習・演習 国家試験手続き 看護統合実習指導
12	看護過程演習 学内技術実習・演習 学生個人指導 学力対策	12	学生個人指導 父母懇談 小児看護過程演習 学内技術実習・演習	12	看護統合実習指導 学生個人指導 看護研究個別指導
1	看護過程演習 看護研究聴講 学内技術実習・演習 学生個人指導 学力対策	1	母性看護過程演習 学力対策 学内技術実習・演習 学生個人指導 看護研究聴講	1	看護研究発表 領域・看護統合実習単位認定会議 国家試験業者模擬試験
2	学校設立記念日 基礎看護学実習Ⅰbガイダンス 基礎看護学実習Ⅰb実習指導 看護過程演習 学内技術実習・演習 学生個人指導 基礎看護学実習Ⅰb報告会 修学資金借用提出	2	学校設立記念日 精神・在宅看護過程演習 学内技術実習・演習 学生個人指導 修学資金借用提出	2	学校設立記念日 看護師国家試験 卒業報告会 卒業認定会議
3	国家試験低学年用業者模擬試験 病院説明会・就職ガイダンス 1年次単位認定会議 予餞会 卒業特別公演 卒業式 各修学・奨学資金継続準備	3	2年次単位認定会議 就職・国家試験ガイダンス 国家試験低学年用業者模擬試験 卒業式 予餞会 卒業特別公演 各修学・奨学資金継続準備	3	予餞会 卒業特別公演 卒業報告会 各修学・奨学資金卒業手続き 卒業式練習 同窓会説明 卒業式

令和3年度 年間行事予定一覧表

4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
1	木		1	土		1	火		1	木		1	日		1	水		1	金		1	月		1	水		1	土	元旦	1	火	学校設立記念日	1	火	卒業特別講演/予後会
2	金		2	日		2	水		2	金		2	月		2	木		2	土		2	火		2	木		2	日		2	水	1年生基礎実習1bガイダンス	2	水	卒業報告会/卒業式練習
3	土	5期生入学式	3	月	憲法記念日	3	木		3	土		3	火		3	金		3	日		3	水	文化の日	3	金		3	月		3	木	3年生卒業認定会議	3	木	第3期生卒業式
4	日	2・3年生3/22月～4/1日春季休暇	4	火	みどりの日	4	金	1年生札幌医科大学PBL～熊本医科大学	4	日		4	水		4	土	3回目オープンキャンパス	4	月		4	木		4	土	令和4年度一般入試(学科)	4	火		4	金	卒業証明書事務局提出	4	金	
5	月	3年生卒業/1年生入学ガイダンス	5	水	こどもの日	5	土		5	月		5	木		5	日		5	火		5	金		5	日	令和4年度一般入試(面接)	5	水		5	土		5	土	
6	火	1年生入学ガイダンス	6	木		6	日		6	火		6	金		6	月	1年生基礎実習1a開始(～9/10)	6	水		6	土		6	月		6	木		6	日		6	日	
7	水		7	金	看護の日/1年生選抜訓練	7	月		7	水		7	土		7	火		7	木	前期成績会議	7	日		7	火		7	金		7	月		7	月	
8	木		8	土		8	火		8	木		8	日		8	水		8	金	1年生防火訓練	8	月		8	水		8	土		8	火		8	火	
9	金	新入生歓迎会/入学式/入学式練習	9	日		9	水		9	金		9	月		9	木		9	土		9	火		9	木		9	日		9	水		9	水	
10	土		10	月	2年生基礎実習Ⅱ開始28(金)迄	10	木		10	土		10	火		10	金	1年生基礎実習Ⅰa終了	10	日		10	水		10	金		10	月	成人の日	10	木		10	木	
11	日		11	火		11	金		11	日		11	水	山の日	11	土		11	月	スポーツの日	11	木	3年生国家試験必要書類手続き	11	土		11	火		11	金	建国記念日	11	金	
12	月	3年生領域別実習1aガイダンス/施設ガイダンス	12	水		12	土		12	月		12	木		12	日		12	火		12	金		12	日		12	水		12	土		12	土	
13	火	3年生領域別実習ガイダンス/施設ガイダンス	13	木		13	日		13	火		13	金		13	月		13	水		13	土		13	月	2年生父母面談会開始17(金)迄	13	木		13	日	第11回看護師国家試験	13	日	
14	水	3年生領域別実習ガイダンス/施設ガイダンス	14	金		14	月		14	水		14	土		14	火	1年生基礎実習Ⅰa報告会	14	木		14	日	令和4年度推薦社会人入試	14	火		14	金		14	月	1年生基礎実習1b開始(～2/25迄)	14	月	
15	木	2年生生体実験ガイダンス	15	土		15	火		15	木		15	日		15	水		15	金		15	月		15	水		15	土		15	火		15	火	
16	金		16	日		16	水		16	金		16	月		16	木	2年生成人Ⅰ・Ⅱ老年Ⅰ実習ガイダンス	16	土		16	火		16	木		16	日		16	水		16	水	
17	土		17	月		17	木		17	土		17	火		17	金		17	日		17	水		17	金		17	月	1・2年生冬季休暇終了(～1/17迄)	17	木		17	木	
18	日		18	火		18	金	1・2年生遠足	18	日		18	水		18	土		18	月		18	木	国家試験書類事務局へ発送	18	土		18	火	1・2年生始業	18	金		18	金	2年生レントゲン血液検査
19	月	3年生領域別実習開始(～10/25迄)	19	水	1年生学校検診	19	土		19	月	1・2年生夏季休暇期間(～6/16)迄の日	19	木		19	日		19	火		19	金		19	日		19	水		19	土		19	土	
20	火		20	木		20	日		20	火		20	金		20	月	2年生成人Ⅰ・Ⅱ老年Ⅰ実習開始(20～1/19迄)20(月)敬老の日	20	水		20	土		20	月	1・2年生冬季休暇開始(～1/17迄)	20	木		20	日		20	日	
21	水		21	金		21	月		21	水		21	土		21	火		21	木		21	日		21	火		21	金	3年生冬季休暇終了	21	月		21	月	春分の日
22	木	1年生対象講話/個人情報の取り扱い	22	土		22	火		22	木		22	日		22	水		22	金		22	月		22	水		22	土		22	火		22	火	1・2年生春季休暇(22～4/3)迄
23	金	2年生対象実習激励会	23	日		23	水		23	金		23	月		23	木		23	土		23	火	勤労感謝の日	23	木		23	日	3年生冬季休暇終了	23	水	天皇誕生日	23	水	
24	土		24	月		24	木		24	土		24	火	戴帽式総練習	24	金		24	日		24	水	2年生成人Ⅰ・Ⅱ老年Ⅰ実習報告会	24	金	看護統合実習終了	24	月	3年生始業	24	木		24	木	AM1・2年生進級認定会議
25	日	3年生AM北海道看護研究学会総講	25	火		25	金		25	日		25	水		25	土		25	月		25	木		25	土		25	火		25	日		25	金	
26	月	2年生基礎実習Ⅱガイダンス	26	水		26	土		26	月		26	木		26	日		26	火		26	金	3年生看護統合実習ガイダンス	26	日		26	水		26	土		26	土	
27	火		27	木		27	日		27	火		27	金		27	月	1年生父母面談会開始10/25迄	27	水		27	土		27	月		27	木		27	日		27	日	
28	水	2年生学校検診	28	金	2年生基礎実習Ⅱ終了	28	月		28	水		28	土		28	火		28	日		28	日		28	火	3年生冬季休暇開始(～1/23)	28	金		28	月	1年生基礎実習1b報告会	28	月	
29	木	昭和の日	29	土		29	火		29	木		29	日		29	水		29	金		29	月	看護統合実習開始(～12/24)	29	水		29	土					29	火	
30	金	1年生レントゲン血液検査/新生児看護科大学PBL/熊本県立	30	日		30	水		30	金		30	月		30	木		30	土		30	火		30	木		30	日					30	水	
			31	月	2年生基礎実習Ⅱ報告会				31	土		31	火					31	日					31	金		31	月					31	木	

<学校運営組織図>

1. 校務分掌組織図



係りの重点目標

係	重点目標
総務係	・各係、各学年との連絡を密にして学務内容の充実、運営の円滑化を図る
教務係	・教育課程の適切な構成と運用を行い、各分掌や各学年間の連絡調整に努め、校務運用の円滑化を図る
学級係	・集団への適応力を高め協調性（協働による仲間作り）を養う ・授業規則と学習の習慣・定着をはかり、基礎学力の向上を図る ・集団生活を通して自己を認識させるとともに主体的規律ある生活習慣の確立を図る
実習係	・教育課程達成のため、各係及び各実習施設との連携を図り、適切な実習計画を立案し、実習に内容の充実を図る
教員研修係	・教育実践力を高め、教員の質向上を図る
教務事務	・各係と連携を図り、教務資料の準備、作成、整理、データ処理を行う

校務分掌担当教員

係名	責任者	教職員名
総務係	校長	野口副校長 事務長 藤原副主任 櫻井副主任
教務係	野口副校長・教務主任（兼務） 櫻井副主任	藤原副主任 櫻井副主任 齋藤 吉田 三上 坂本
学級係	1年担任 齋藤 2年担任 吉田 3年担任 櫻井副主任	1年副担任 三上 井上担当 2年副担任 坂本 鎌田担当 3年副担任 藤原副主任
実習係	藤原副主任	櫻井副主任 三上 齋藤 吉田か 鎌田 坂本 井上 吉田菜
教員研修係	校長	齋藤 吉田か 三上 鎌田
教務事務	松田事務長	寺下 石倉 松井

校務分掌 業務分担

2021 年度

係り	責任者	業務	主幹	担当教員
総務係	校長	入学試験	校長	野口 櫻井 藤原
		入学式	校長	野口 櫻井 藤原 齋藤
		卒業式	校長	野口 櫻井 藤原
		戴帽式	校長	野口 櫻井 藤原 齋藤
		危機管理	校長	野口 櫻井 藤原
		学生募集	校長	野口 櫻井 藤原 事務長
		就職・進学	校長	野口 櫻井
		同窓会	校長	野口 事務長
		学校評価	校長	野口 事務長 他全教職員
		学校関係者評価	校長	事務長
教務係	野口	教育課程編成	校長	野口 櫻井 藤原
		教育計画 授業計画	校長	野口
		学生便覧	野口	櫻井
		学力対策 国家試験対策	藤原	櫻井 齋藤 吉田か
		図書・学生図書教材	坂本	櫻井 三上 吉田菜 事務長
		保健衛生・安全管理	鎌田	藤原 井上 吉田か
		課外行事・学生交流会	三上	鎌田 坂本 井上 吉田菜
		就職・進学相談	校長	野口 櫻井
学級係	野口 櫻井 齋藤 吉田 藤原	学級担当 学生相談・ 学生指導	齊藤 吉田 櫻井	三上 井上 坂本 鎌田 藤原
		父母懇談	野口	齊藤 吉田 櫻井
実習係	藤原	臨地実習要綱 臨地実習指導要綱 各看護学実習要綱 各看護学実習指導要綱 各臨地実習会議調整	藤原	三上 齊藤 吉田か 櫻井 鎌田 坂本 井上 吉田菜
教員研修係	校長	校内研修	齊藤	吉田 三上
教務事務係	事務長	教務事務	事務長	松井 石倉

領域別看護学担当教員及び業務マトリックス

	校長	野口	藤原	三上	齊藤	吉田	櫻井	坂本	鎌田	井上	吉田菜	事務
科目の担当領域		看護の統合と実践	基礎看護学	成人看護学	老年看護学	母性看護学	在宅看護論	小児看護学	精神看護学	成人看護学	老年看護学	
		(基礎看護技術)	(基礎看護技術)	(基礎看護技術)	(基礎看護技術)	(基礎看護技術)	(基礎看護技術)	(基礎看護技術)	(基礎看護技術)	(基礎看護技術)	(基礎看護技術)	
総務係	入試	☆ ◎	○				○					○
	入学	☆ ◎	○		○		○					○
	卒業	☆ ◎	○				○					○
	戴帽式	☆ ◎	○		○		○					○
	危機管理	☆ ◎	○				○					○
	学生募集	☆ ◎	○				○					○
	就職・進学	☆ ◎	○									○
	同窓会	☆ ◎	○									○
	学校評価	☆ ◎	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	学校関係者評価	☆ ◎										○
	教育課程編成	◎	☆ ○	○			○					○
	教育計画・授業計画	◎	☆ ○									○
	学生便覧		☆ ◎				○					
教務係	学力対策(国家試験を含)		◎		○	○	○					
	図書・教材		☆	○			○	◎			○	○
	保健衛生・安全管理					○			◎	○		○
	課外行事・学生交流会		☆	◎				○	○	○	○	○
	就職・進学相談	◎	☆ ○				○					
	学級担当 学生相談・指導		3学年 副担任	1学年 副担任	☆ ◎ 1学年 担任	☆ ◎ 2学年 担任	☆ ◎ 3学年 担任	2学年 副担任	○	○		○
	父母懇談		◎		☆ ○	☆ ○	☆ ○					○
学級係	実習担当		☆ ◎	○	○	○	○	○	○	○	○	
研修係	校内研修・研究グループ	☆		○	◎	○						／

☆印は責任者 ◎印は主幹

2期生 看護研究

担当教員	学生氏名	テーマ
櫻井 美奈子	小柳 智理	排泄誘導を拒否する患者の援助
	田邊 帆香	若年性脳梗塞患者への再梗塞予防に向けた食事指導 —個別性のある看護と役割について—
	宮川 琴未	易転倒性のある高齢者に対しての継続看護 —歩行器の使用を忘れてしまう患者への看護—
畠山 智	賀川 ありさ	食行動を変えられない食道癌患者への食事指導 —成人期にある対象の行動変容を促す関わり—
	金山 久美子	高齢者の内発的動機付けによる行動変容を促す関わり
	出口 芽衣	人工骨頭置換術を施行した高齢者の退院支援 —退院後の生活に関する対象と家族の意見の相違から学ぶ—
	宮本 洋祐	老年期にあるアルツハイマー型認知症患者の食行動を促進する援助
吉田 かつえ	工藤 優香	病院食を摂取しない患者への精神的アプローチ
	成澤 舞	高齢患者における廃用症候群の予防実践 —再びトイレでの排泄を目指して—
	杉本 晴香	失語症患者とのコミュニケーション —流暢性障害のある患者へのアプローチ—
齊藤 まどか	伊藤 彩	慢性心不全患者への清潔援助を通じた関わり —清潔ニードの充足がもたらす心身への影響—
	高橋 瑠那	気管切開を行った患者への誤嚥性肺炎の予防 —QOLの維持・向上を目指した口腔ケア—
	井上 瑞希	脳梗塞を患った認知症高齢者の食事援助
	後藤 なつみ	人工膝関節全置換術を受けた患者への看護 —意欲を高める声掛けの工夫—
三上 麻美	伊藤 衛里	高度認知症のある対象の看護 —対象に合わせて変化させていった関わり方—
	永嶋 あかり	嚥下障害を持つ患者への看護
	前田 結菜	右片麻痺のある患者への看護 起立時にふらつきがあり麻痺側への荷重に恐怖心のある対象への関わり
坂本 容子	川嶋 舞子	回復期における強みに焦点を当てた介入の重要性 —バンデューラの自己効力感を用いた一事例からの考察—
	岸本 彩菜	退院に向けて自己効力感が低下している対象への関わり —できることから一歩ずつ、内服自己管理への取り組み—
	下条 菜々子	食事・飲水量増量のための行動変容の促し —看護師・患者の目標共有の必要性—
	結城 奈菜美	「看護師—患者」の関係性の構築による行動変容 —食事への意欲向上へとつながった一事例からの学び—

担当教員	学生氏名	テーマ
鎌田 たまみ	鈴木 杏侑	超高齢者のその人らしさを支える看護を考える - 認知症を持つ100歳代の患者さんのその人らしさを大切に引き出して -
	田口 麻衣	記憶力が低下している患者の転倒予防の関わりについて ーパンフレットを用いた効果的な指導方法ー
	田宮 あゆみ	信頼関係を構築するコミュニケーションを考える
	渡邊 夕花	入院中に家族を亡くした患者の看護 ー回復期にある患者のグリーフケアー
井上 里織	伊藤 レミ	高齢者の尊厳を尊重した援助方法について ー食事指導の事例を通して意思を尊重した援助について考えるー
	高橋 佳奈	脳出血による障害を抱えた高齢者への看護とは ー高齢者の心理を踏まえて危険行動への関わりを振り返るー
	内藤 咲弥	終末期の生存の時期にある患者とのかかわり ー死の直前までがんとともに生きる患者への看護介入ー
	上野 真央	ボディーイメージが変容した高齢患者への膀胱瘻管理指導 ーセルフケア指導をとしての学びー
藤原 未央	伊藤 果蓮	患者ー看護師関係におけるケアリング効果の検証 ー交通事故により生活行動が変化した患者との関わりを通してー
	太田 茉佑	成人期にある心筋梗塞患者への食事指導 食習慣改善に対して既に動機づけされていた対象との関りを通してー
	本間 千尋	認知症のある対象のその人らしさを尊重する看護とは ー不穏状態にある対象との関りを通してー
	宮寄 玲奈	難聴のある認知症患者との関わり ーノートを活用したコミュニケーション方法の有効性についてー
	工藤 紅葉	成人期にある食道がん患者の看護 ー化学療法を受ける患者への感染予防の指導を通してー

出身校別状況

(順不同)

高等学校名	2017年 1期生	2018年 2期生	2019年 3期生	2020年 4期生	2021年 5期生
札幌北斗	1	1	1	4	2
札幌西陵	1	3	2	1	
札幌創成	2	2		2	
札幌北陵	1	5	1		
札幌手稲	2	2			1
札幌白石	2		1		2
札幌英藍	1	2	1		5
札幌丘珠	1	1	1	1	
札幌藻岩	1	1	1	1	1
石狩南			2	2	2
札幌稲雲		2	1	1	3
札幌東陵		1	1	2	1
札幌国際情報				4	
札幌山の手	1	2			
札幌啓北商業	1	1	1		
札幌真栄	1	1	1		
札幌平岸	1	1		1	
小樽桜陽	1		1	1	1
札幌清田		1	2		
東海大札幌		1	1	1	
石狩翔陽		1		2	2
札幌新川	1	1			1
札幌日本大学高校	1	1			
滝川西	1	1			
札幌大谷	1		1		
江別	1		1		1
札幌啓成	1			1	
札幌龍谷	1			1	
千歳	1			1	
札幌厚別			2		1
札幌東商業			1	1	2
恵庭北			1	2	
北広島西			1	1	
北星学園女子				2	1
札幌光星	1				
札幌新陽	1				
札幌静修	1				1
札幌東	1				
北海道文教大学明清	1				
旭川実業	1				
旭川龍谷	1				
野幌	1				
市立西館	1				
北見藤	1				1
帯広北	1				
奥尻	1				
北海道栄	1				
鹿追	1				
千葉県立我孫子	1				
札幌稲西（現：あすかぜ）			1		
北星学園大学附属			1		
旭川西			1		
旭川永嶺			1		
岩見沢西			1		
とわの森三愛			1		
音更			1		
帯広南商業			1		
滝川			1		
浦河			1		
紋別			1		
札幌北		1			1
札幌篠路		1			1
有朋		1			
立命館慶祥		1			
妹背牛商業		1			
双葉		1			
樽山北		1			
寿都		1			
名寄		1			
国立苫小牧工業高等専門			1		
遺愛女子			1		
青森弘前工業			1		
相生学院			1		
別海				1	1
厚真				1	
旭川農業				1	
恵庭南				1	
北海学園札幌				1	
岩見沢緑陵				1	1
登別明日				1	
中京女子大附属				1	
北海道科学大学					2
北海					1
札幌平岡					1
室蘭商業					1
釧路商業					1
釧路東					1
剣淵					1
計	40	40	40	40	40

	病院（施設）名	2020(令和2)年	2021(令和3)年	2022(令和4)年
		1期生 卒業生数 37名	2期生 卒業生数 34名	3期生
札幌市内	札幌東徳洲会病院	3		
	柏葉脳神経外科病院	3	1	
	北光記念病院	3	2	
	J R 札幌病院	2	1	
	手稲溪仁会病院	2		
	時計記念病院	2	2	
	札幌南一条病院	2	1	
	イムス札幌消化器中央総合病院	2	2	
	札幌西門山病院	1		
	北海道大野記念病院	1	2	
	札幌中央病院	1	3	
	恵佑会札幌病院	1	1	
	愛全病院	1	2	
	札幌清田病院	1	1	
	NTT東日本 札幌病院		1	
	国立 北海道医療センター		1	
	定山溪病院		1	
	道立 子ども総合医療・療育センター		1	
	札幌市立病院		1	
	札幌整形循環器病院		1	
	クラーク病院		1	
札幌市外	天使病院		1	
	北海道整形外科記念病院		1	
	済生会小樽病院		1	
	国立病院機構帯広病院	3		
	市立千歳市民病院	1		
	江別市立病院	1		
	江別溪和会病院	1		
道外	製鉄記念室蘭病院	1		
	慶愛病院		1	
	小樽市立病院		1	
	千葉県救急医療センター	2		
	東京都健康長寿医療センター	1		
	東京都東医療センター	1		
	埼玉県森林病院	1		
	日本医科大学付属病院		1	
	東京慈恵会医科大学附属病院		1	
	昭和大学病院		2	
計		37	34	

【入学在籍状況】

(単位：人)

	1期生					2期生					3期生					4期生				
区分	入学	休学	退学	在籍	卒業	入学	休学	退学	在籍	卒業	入学	休学	退学	在籍	卒業	入学	休学	退学	在籍	卒業
全体数	40	3	3	37	37	40	3	2	38	34	40	3	3	39	0	40	0	1	39	0
うち男子	4	0	0	4	4	2	1	0	2	1	2	0	0	2	0	5	0	0	5	0

【看護師国家試験結果状況】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度
国家試験回数	105回	106回	107回	108回	109回	110回
全国合格率	90.0%	88.5%	91.0%	89.3%	89.2%	90.4%
看護師養成校	97.4%	96.7%	97.2%	95.5%	94.7%	95.4%

【2020年度 専任教員年間研修・研究実績】

1. 事例検討会 学会報告会

月	内容
7	1.学生に対する事例 2.教育に関する事例 3.学会報告会
1	1.年間研修計画領域別学会・研修会参加報告会 2.学生に関する事例
3	1.年間研修計画領域別学会・研修会参加報告会 2.学生に関する事例

2. 教育実習受入状況

月	内容
6	環太平洋大学通信教育過程(看護教育専攻)
10	北海道専任教員養成講習会
11	北海道高等学校産業教育実践講座(看護)

3. 各領域別学会参加研修

学会主催	領域	参加教員
日本母性看護学会学術集会	母性看護学	吉田 かつえ
日本看護学会(急性期看護)学術集会	成人看護学	三上 麻美
日本看護学教育学会学術集会	小児看護学	野口 みどり
日本看護学会(看護教育)学術集会	看護教育	鎌田 たまみ
日本看護学校協議会学会	基礎看護学	藤原 未央
日本看護学会(在宅看護)学術集会	在宅看護論	櫻井 美奈子
日本看護学会(看護管理)学術集会	看護管理	三上 麻美
日本看護学校協議会 教育研修会	看護教育	齊藤 まどか

